

## 財務総括

財務局長 西井 杉夫

### 1. ホテルの選定と交渉

もともと、厳しい収支でもって運営を行うのであるから、選定にあたり収支の基本原則を明確にすべきであった。

コネクションのあるホテルを選定し、多少の無理がきくようにすべきである。・・・注文の追加のたびごとに、別途価額を提示され、交渉するたびごとに当社はそんな格の低いホテルではないといわれて困った。

見積もり予算・・・出席人数に応じて対応できるようにすべきである。少なくとも 350 人、400 人、450 人等の出席人数に応じた場合の見積もりを取るべきである。

食事数の確定は総会の 2 日前ぐらいまでは余裕を確保すべきである。10 日前に食事の人数を確定する約束を事前にしてしまったのは明らかに失敗である。

寿司の 1000 円(3 巻)は高かった。

### 2. 飲料水の寄贈

既に、現役を引退した人達から、相当ないやみや弁解を受けた。気持ちよく応じてくれたのは味の素、日本たばこ産業の 2 社ぐらいである。

45 年の川崎さん(サントリー)及び小沢さん(キリンディスティラリー)は大変苦勞されたものと思う。

個人負担は配送の問題があり、小売店からの配送はホテルとのトラブルが生じるケースもあるときいている。

寄贈を依頼することに批判をするむきもあるが、現状の会費やシステムでは寄贈が無い場合、おそらく完全に赤字になるので当分の間は寄贈に依存せざるを得ない。

### 3. 会費収入予測

不確定要素が大きすぎる。

イ) 出席予測

ロ) キャンセル率

精度をたかめるため、幹事年度のみならず全体に対して前払い制度等を検討すべきである。

### 4. 当日の会計

当日の会費収入のチェックは、出席簿と現金残高を照合する以外に方法は無い。現状では出席簿と現金残高の不一致が発生しても原因の究明方

法が無い。財務では打ち合わせ段階で、総務に対して入金時の入金票の作成を依頼をしたが断られたため、当初から照合をあきらめてしまった。

については、受付と会計業務が分かれてしまったことによる連携不足が原因である。もしくは受付の各テーブルごとに、会計担当を配置すべきであったと反省している。

顧問、役員等の会費納入者のリボンと名札が別々の場所に置かれていたため、混乱が生じた。

#### 5 . 経費の支払い業務

支払いの都度経費精算は多大な手間であり、藪内さんには申し訳なかった。

各、担当部局ごとに担当者を決め、一定金額を仮払いする制度(定額前渡金)にすべきであったと反省している。

イ) その都度の振込みの煩雑

ロ) 当日の出金があったため、現金照合に混乱が生じた。

以上